

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 12/19 第24号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

個人懇談

12月14日(木)から22日(金)まで個人懇談が行われています。今回の個人懇談は、3年生にとっては進路決定の懇談になります。自分自身の適性を見極め、希望する進路先を決定してください。進路先が決定すれば、後は努力あるのみです。周囲の人々への感謝を忘れず、力を尽くしてください。輝く未来へのスタートとなるような話し合いができることを願っています。1・2年生は、2期の学校生活を振り返り、できたこととできなかったことをはっきりさせて、3期そして次の学年を展望してください。

2期は、体育大会、文化祭、2年生のチャレンジ体験、1年生のファイナンスパーク学習など多くの学校行事がありました。それぞれの学校行事で力を発揮できたかや笑顔で活動できたかや学年やクラスの団結力が高まったかなどを振り返ってください。そして、できたところは自分自身で評価し、次の活動に活かしてください。できなかったところは、なぜできなかったかを反省して、できなかった理由を考えてみてください。できなかったところは、自分自身の課題です。同じ失敗を繰り返さないためにも課題克服に努めてください。

人権月間

1948年12月10日に国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、12月10日を「世界人権デー」とし、日本では12月4日から10日を「人権週間」、12月を人権月間としています。世界人権宣言の第1条は、「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」としています。つまり、基本的人権は生まれながらにして全ての人に保障されているのです。しかし、現実の社会では、差別意識がなくなっていません。「障害がある方への差別」「外国人への差別」「女性への差別」そして「同和問題」など例をあげれば次々と出てきます。日本では人権が守られているとはいえない状況です。差別意識をなくしていく第一歩は他者を思いやる気持ちをもつことだと考えます。社会にはさまざまな価値観があり、さまざまな考え方があります。しかし、往々にして他者のことを自分と同じ価値観、考え方と独りよがりにとらえがちです。そして、他者が自分と違う言動をすると他者への攻撃が始まる場合があります。まず、他者の自分とは違う価値観や考え方を共有することから始める必要があります。このことが他者を思いやる気持ちにつながります。他者の思いを想像して言動を行うことが大切なのです。

本校では、12月に人権学習を実施しています。1年生は「身の周りにおける様々な人権問題」2年生は「外国人の権利をめぐる問題について」3年生は「同和問題にスポットをあて、人権問題を考える」をテーマにしています。一人一人の生徒が人権への思いを新たにしてくれることを願っています。

新たな気持ちで

冬季休業は、年末年始をはさみますからどうしても不規則な生活になりがちです。不規則な生活は体調を崩すことにつながりますから「早寝・早起き・朝ごはん」に心がけ、規則正しい生活を送ってください。保護者の皆様のご協力もお願いいたします。

「1年の計は元旦にあり」といいます。新年の年頭に1年間の目標を立ててください。学習面や生活面などどんな目標でもよいです。そして、新たな気持ちで目標達成に向けて努力を続けてください。1月5日(金)の授業再開日に元気に、笑顔で登校してくれることを願っています。(裏面に1月予定)